区政Ｎｏｗ！（２３年２月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

ごあいさつ

平成２３年度の予算を発表しました。一般会計予算は、９１５億７千万円で、前年度比較で１２%の増となっており、過去最大の規模となっています。

これは、２００床を超える特別養護老人ホームの整備や待機児童解消に向けた保育施設の整備、尾久八幡中の建替、生活保護費の大幅な増額などによるものです。

厳しい経済環境ではありますが、区民の皆様が安心して暮らしていけるよう、「幸福実感都市あらかわ」を実現していくために、最も身近な基礎自治体として、区政を推進してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

主な事業

●　荒川区コミュニティバスの利用者が３００万人を突破しました

△　平成１７年４月に運行を開始したコミュニティバス「さくら」、平成２０年１０月に運行を開始した「汐入さくら」の利用者が累計３００万人を突破しました。これも多くの皆様に御利用いただいたおかげです。

300 万人目の渡部由里子さん（左）と祐翼（ゆうすけ）君（中央）と西川区長

△　これまでに、「さくら」の利用者増を目指して、前日の天気予報で降水確率が５０%以上の際、午前７時から午前８時の間の４便増、夕方以降、多くの乗客が利用する「京成町屋駅からグリーンハイム荒川」の区間でのシャトル便の運行や、混雑緩和のため、始発の「南千住駅西口」の午前７時３０分から午前８時３０分発を１５分間隔から１２分間隔に短縮、さらには、子ども家庭支援センター前にバス停留所を設置するなど、様々なサービスを行ってまいりました。

△　これからも皆様にコミュニティバス「さくら」「汐入さくら」を利用していただける様、利便性の向上を図ってまいります。

●　障がい者就労施設「スタートまちや」が開設しました

△　平成２３年１月２９日（土）、旧町屋三丁目ひろば館跡地に障がい者就労支援施設「スタートまちや」が開設しました。

△　新たにパソコン操作等の就労訓練を行い、就労の拡大に向けて、多様な取組を行ってまいります。

◎　所在地　町屋３－２８－２
◎　構造及び延床面積
　　鉄骨造り地上３階建て、
　　延床面積　８７４．９５㎡
◎　お問い合わせ先
　　障害者福祉課
　　３８０２－３１１１内線２６８３

荒川区心身障害者福祉連合会から寄贈された表示プレートを披露する西川区長

主な事業

●　「成人の日のつどい」が行われました

△　平成２３年１月１０日（祝）、サンパール荒川で「成人の日のつどい」が行われました。区では、新成人になる若者たちから実行委員を募集し、今回は新成人１７名（男性９名、女性８名）が実行委員となり、自分達の「成人の日のつどい」を作り上げるために、企画や運営などを行いました。

第一部記念式典であいさつする西川区長

△　当日は、荒川区の新成人１，８１３名（男９０４名、女９０９名）のうち、約９６０名の参加がありました。「成人の日のつどい」は、第一部記念式典、第二部来場者全員で行う１０００人企画、第３部はミニパーティ及び実行委員企画と３部構成で大いに盛り上がりました。

●　救急医療情報キットを配布します

△　見守りが必要な高齢者等の方に対して、救急時に救急隊が救急処置や病院搬送を速やかに行えるようにするために、必要な医療情報を記載したシート等を保管する「救急医療情報キット」を配布します。

◎　対象者
「荒川区高齢者等支えあい見守りあいネットワーク事業」対象者名簿登載者及び「ひとり暮らし届」登録者のうち、キットの利用を希望する方

◎　配布物
・容器（筒状）
・救急医療情報シート
・取扱説明書

◎　配布期間　　平成２３年３月から

◎　お問い合わせ先
高齢者福祉課　３８０２－３１１１　内線２６７５
障害者福祉課　３８０２－３１１１　内線２６８５

●　「あらかわ子ども読書フェスティバル」が行われました

△　平成２３年１月１５日（土）日暮里サニーホールで、第４回目となる「あらかわ子ども読書フェスティバル」が開催され、「柳田邦男絵本大賞」と「あらかわ小論文コンテスト」の表彰式が行われました。

△　「柳田邦男絵本大賞」は、絵本の魅力を広く伝える活動を行っている作家・柳田邦男氏の全面協力の下に、自分が読んだ絵本の感動や読み聞かせの体験等を、柳田氏宛ての手紙として綴ってもらい、柳田氏が選考委員となって表彰するものです。今回は、子どもの部で５９０名、一般の部で２８名の応募がありました。

△　「あらかわ小論文コンテスト」は、自分の考えや意見などを正確に伝える文章を書くことにより、伝える力を育成することを目的とするものです。今回は、過去最高の９，８５２点の応募がありました。

△　会場には、大勢の方が訪れ、受賞者へ大きな拍手が送られていました。